

第7回登米市総合教育会議会議録

会議の名称	第7回登米市総合教育会議	
開催日時	平成30年8月17日(金)	
	午後 2時00分 開会	
	午後 3時35分 閉会	
開催場所	登米市役所 迫庁舎3階 第3委員会室	
出席者氏名	市長	熊谷 盛廣
	教育長	高橋 富男
	教育長職務代理者	畠山 信弘
	教育委員	小野寺 範子
	教育委員	大久保 芳彦
	教育委員	佐竹 美香
	教育委員	須藤 勝子
欠席委員	なし	
傍聴者	なし	
事務局職員氏名	総務部長	中津川 源正
	市長公室長補佐	佐藤 貴光
	教育部長	大柳 晃
	教育部次長	佐藤 嘉浩
	教育部次長兼学校教育管理監	及川 幸男
	教育総務課長	小林 和仁
	学校教育課長	遠藤 貞
	活き生き学校支援室長	菅原 栄夫
書記	教育総務課 課長補佐	佐々木 清晴
議題	議題 1	魅力ある教育環境づくりについて

議題・ 発言	司会	<p>(開会 (午後 2時00分))</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、第7回登米市総合教育会議を開会します。開会時間は午後2時00分といたします。</p> <p>初めに、市長から開会の挨拶を申し上げます。</p>
	熊谷市長	<p>挨拶</p> <p>本日は、委員の皆様には大変お忙しいところご出席を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>登米市の教育行政については、「登米市の教育の振興に関する施策の大綱」に掲げる6項目の「施策の基本方向」に基づき、「登米市教育振興基本計画」に15項目の「重点的取組」を設けまして、個々の事業を推進しております。</p> <p>今回は、本大綱の「施策の基本方向」のうち、「魅力ある教育環境づくり」の重要課題であります学校再編を議題としまして、登米市立小中学校再編基本方針に掲げる目指す学校像「児童生徒が、多様な考えに触れ、切磋琢磨することで社会の形成者としての基本的資質を伸ばすことのできる学校」の実現に向け、本年度に策定する小中学校等再編構想案について、教育委員の皆様からご意見をいただきたいと思っておりますのでございます。</p> <p>スケジュール的にもそろそろ学校再編の時期にさしかかってきていると考えていますし、議会でもそういう意見が強く出てきております。</p> <p>教育委員の皆様には、ご起端のない意見をいただき、その意見を反映させていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
	司会	<p>それでは、議事に入ります。議事の進行に当たりましては、熊谷市長に議長をお願いいたします。</p>
	議長・熊谷市長	<p>それでは、議題に沿って会議を進めさせていただきます。</p> <p>「魅力ある教育環境づくりについて」を議題といたします。事務局から資料の説明をお願いいたします。</p>
	大柳教育部長	<p>少子化が進展する中で、子ども達の教育環境を改善していくということで、昨年度から本会議の中で継続的な協議を行ってまいりましたが、学校再編基本構想の骨子(案)について取りまとめましたので、本日はその内容についてご協議をいただきたいということです。</p> <p>内容につきましては、再編にあたっての基本的な考え方、再編の進め方、地域別の再編方針などでございます。</p> <p>詳細につきましては、小林教育総務課長より説明させますので、ご協議をよろしく願いいたします。</p>
	小林教育総務課長	<p>(登米市立小中学校等再編構想の骨子(案)について、会議資料(資料1、資料1-②)に基づき説明)</p>

議題・ 発言	議長・熊谷 市長	<p>ただいま、事務局から「魅力ある教育環境づくり」を進める上での重要課題であります小中学校再編構想の骨子（案）について説明がありました。</p> <p>それでは、資料に基づきまして、委員の皆様からお気づきの点や意見等を伺います。初めに再編構想（案）の「再編の基本的な考え方」について、畠山教育長職務代理者からお願いいたします。</p>
	教育委員・ 畠山教育長 職務代理者	<p>前回もお話ししておりますが、小学校においては、構想（案）の基本的な考え方について概ね賛成であります。</p> <p>今回は適正規模の捉え方、再編の方法、人口減少対策の3点を述べさせていただきますが、これまで4年間にわたりまとめてきた基礎資料をもとに、これまで行ってきた教育委員会での討論や総合教育会議での討論、座談会での保護者からの意見を取りまとめてきました。</p> <p>この内容について、市民に示していくべきと思いますが、登米市では地域性もあり、東和など学区が広く通学距離がある町域については、学校数を配慮すべきであると思います。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>畠山委員は構想（案）の基本的な考え方については、了承ということではありますが、東和については、学区の広さを配慮してほしいという意見でありました。</p> <p>仮に2校案とした場合でも、いずれその2校も5年、10年後に児童数の減少が予想されておりますので、協議が必要になるかと思っております。</p> <p>20年、30年前は児童数がこのように激減していくとは、考えていなかったことではありますが、統合後にまた、統合となりますと、莫大な投資となりますので、5年先、10年先を見据えた計画をしっかりと示していくことが必要であると考えております。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>次に小野寺委員、お願いいたします。</p>
	教育委員・ 小野寺委員	<p>私も再編の基本的な考え方については、これでいいかと思っております。</p> <p>複式学級の解消や校舎の老朽化へ対応していくための市全体、9町域での計画であることを説明してほしいと思っております。</p> <p>また、スクールバスについては、片寄せされた学校についてスクールバスを出すという計画のようですが、統合した学校についても通学距離がある町域もありますので、柔軟な考え方で対応をお願いしたい。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>小野寺委員も基本的な考え方については、異論はないということよろしいでしょうか。</p>
	教育委員・ 小野寺委員	<p>はい。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>次に、大久保委員からお願いします。</p>

議題・ 発言	教育委員・ 大久保委員	<p>私も統合についての基本的な考え方は、これまでの委員皆さんの意見と同様でよろしいかと思えます。</p> <p>ただし、学校は地域のシンボルでもありますので、学校が無くなった地域では、心の痛みが伴うと思われまますので、この痛みを和らげるためには、きめ細やかな情報を地域住民に繋いでいくことが必要なのではないのでしょうか。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>私も地域から学校が無くなるということは、寂しいことであり、それを行政がどうケアしていくかが課題であると考えます。</p> <p>学校施設が何かに使用されればいいのですが、学校の教室は、会社や福祉施設など他の施設として利用するには難しいようです。</p> <p>この跡地利用も学校再編のもう一つの課題であり、委員さん方からお知恵をお借りしたいと思えます。</p> <p>大久保委員も基本的な考え方については、了承でよろしいでしょうか。</p>
	教育委員・ 大久保委員	<p>はい。</p> <p>跡地利用も重要と考えますが、跡地利用と学校再編との同時進行では、なかなか進みづらいのではないのでしょうか。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>それは私も同時進行は難しいと理解しておりますので、まずは、学校再編を最優先として進めていきたいと思えます。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>次に佐竹委員、お願いします。</p>
	教育委員・ 佐竹委員	<p>私は、この学校再編について、PTAや学校の先生の皆さん、教育委員会からお話を聞いて考えてきました。</p> <p>基本的な考え方については理解しており、その考え方で進めていただいていると思います。</p> <p>保護者の方々も、これまで市から説明をいただいて、登米市で自分の子どもが教育を受けていく中で、学校再編は避けられないと感じているようです。</p> <p>ただし、心配することや希望することを多くの皆さんが持っていますので、その細かい点について、より具体的に検討してもらえればと思えます。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>佐竹委員も基本的な考え方については、了承ということでもよろしいでしょうか。</p>
	教育委員・ 佐竹委員	<p>はい。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>最後に須藤委員、お願いします。</p>

議題・ 発言	教育委員・ 須藤委員	<p>私も複式学級の解消など、これまでも検討してきた経過がありますので、基本的な考え方については賛成です。</p> <p>私自身は、複式学級のある四つの学校に勤めました。30年くらい前は、小さな学校はいい学校なので、保護者も地域も、子どももおじいさん、おばあさんも一体となって、この学校を守っていきましょう、という考え方でした。</p> <p>学校再編の地域説明会では、地域のおじいさん、おばあさん方からは学校が無くなると寂しいという声ですが、保護者の方は、早く友達が多くいる学校に自分の子どもを入れたいという声が多く出ました。</p> <p>年配の方と当事者である子どもを持つ保護者との意見のギャップがあると感じましたし、子どもの数がどんどん減っていくことへの保護者の恐怖心のようなものをひしひしと感じました。</p> <p>最終的には、子育てのメインである保護者やPTAの意見を尊重した学校が多く、そのような地域での話し合いが必要と感じました。</p> <p>それから、小学校の再編を先に進めていくようですが、部活動の種目が制限されないように、生徒数が少ない中学校も小学校と併せて進めていくことも必要ではないかと思います。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>隣の南三陸町では、浜々に小学校がありました。ほとんどが小規模校ですが、PTA会員は保護者だけでなく、地域の方々も会員となって、地域で学校を盛り上げていることから、学校を無くさないでほしいという意見がでてくるのだと思います。</p> <p>小規模校としての良さもありますが、保護者の方々はもっと先を見て欲しいと想いがあるのだらうと思います。</p> <p>また、最後に中学校の再編についても話されましたが、議会からこのままでは部活動ができなくなってしまうという問題も出されております。やはり、教科書での勉強だけでなく、部活動も大きなウェイトを占めると考えておりますし、部活動の選択の幅が狭められることは、大きな課題であると思います。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>須藤委員も基本的な考え方については、了承ということでよろしいでしょうか。</p>
	教育委員・ 須藤委員	<p>はい、よろしいです。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>再編の基本的な考え方について、ご意見をいただきましたが、教育長、何かご意見はございますでしょうか。</p>
	高橋教育長	<p>私も皆様のご意見に同感いたします。小学校が先で中学校が後という基本的な考え方ではありますが、場合によっては小学校と中学校が同時並行で再編を進めていくこともあるかと思えます。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>「再編の基本的な考え方」について、委員皆様からご意見をいただき、この基本的な考えで、しっかり再編を進めてほしいというご意見であつ</p>

議題・ 発言	議長・熊谷 市長	<p>たと思います。</p> <p>それでは、続きまして「再編の進め方について」、「学校（地域別）の進め方について」の2項目について、委員の皆様からご意見をいただきます。</p> <p>畠山教育長職務代理者、お願いします。</p>
	教育委員・ 畠山教育長 職務代理者	<p>再編の進め方についてですが、学校の設置者は市長でありますので、構想案ができましたら、まず、市長が議会へ説明し理解を得た後に、市民に周知や広報をする、パブリックコメントなどで意見を求めていくことが大事になるかと思えます。その中で、再編検討準備委員会のような地域での理解を得るための話し合いの場をどのように設けるかが課題であると考えます。</p> <p>その一つの案として、現在、各支所にある教育事務所が業務量やどのように機能しているか、私は分かりませんが、総合支所にある教育事務所を事務局として活用するという考え方もあると思えます。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>議会への説明は随時していきますし、これまでもしてきましたので、再編へは前向きであると捉えております。</p> <p>また、パブリックコメントは当然行いますが、パブリックコメントではなかなか意見が出てこないことが実情であります。</p>
	教育委員・ 畠山教育長 職務代理者	<p>パブリックコメントは、座談会などの意見聴取を補うもので、その結果については、いろいろ活用できるものと考えます。意見が出てこないということは、提案内容に同意するという考え方もできるかと思えます。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>各支所にある教育事務所は活用できる状況でしょうか。</p>
	大柳教育部 長	<p>教育事務所では、例えば放課後子ども教室や各種スポーツ大会など多くの業務を行っており、その中で事務局としての業務もできるかどうかは、全体で協議を進めていく必要があると思えます。</p> <p>本日、ご意見をいただいたばかりですので、教育事務所へ協議は行っていない状況です。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>次に小野寺委員、お願いします。</p>
	教育委員・ 小野寺委員	<p>教育委員会が主導的になり、基本的な実施計画を市民に示すべきであると思えます。</p> <p>また、公民館で小学生などの子育て事業も行っているのですが、その館長さんも活用できないのかと思えます。</p> <p>さらに、小学校に入る前の保護者の方々の意見を聞くため、子育て支援課や福祉事務所の協力をいただき、3歳児検診などの時にアンケートを行うことはできないでしょうか。</p>

議題・ 発言	議長・熊谷 市長	<p>公民館長さんや公民館で活動している方からお手伝いをいただくということは可能であると考えます。</p> <p>また、未就学時の保護者の方は、意見をたくさん持っていると思いますのでしっかりと意見を聞いていきたいと思ひます。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>大久保委員、お願いします。</p>
	教育委員・ 大久保委員	<p>校則など具体的な地域の計画については、地域の特性がありますので、それは個別に検討する会が必要ですが、学校再編は、登米市全体の問題として考えるべきで、該当する地域だけでなく、再編全体を検討する委員会があってもいいのではないのでしょうか。</p> <p>市全体と地域の個別の計画を検討する２本立ての組織で再編を進めることはできないのでしょうか。</p> <p>また、該当地域の保護者や地域の方々は、不安を持つと思ひますので、その不安を除くためにしっかりと情報を繋ぐこと、教育委員会と意見のキャッチボールによって課題を一つ一つクリアできるような組織ができればいいと思ひます。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>該当地域の方々は、これまで保護者説明会や地域座談会を行い、意見の集約ができていると思ひます。登米市全体としての意見は聞いてなかったと思ひますが、それを代弁しているのが議会であると認識しております。</p> <p>二重にならないように組織が構築できればいいと思ひますが、この考え方はどうでしょうか。</p>
	大柳教育部 長	<p>私達の考へていることをしっかりと伝えて、その意見を聞くということを中心にしたいと考へております。</p> <p>最終的には、教育委員会の教育委員さん方が、地域の様々な意見を代表して言うていただくということです。そのために、私達が情報を収集してきた色々な条件をテーブルに挙げますので、委員さん方でしっかりと議論いただき、一定の方向を導き出していただくということも一つの方法であると思ひますので、ご検討をよろしくお願ひいたします。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>私も何があっても、まず教育委員会が主導していくべきであると思ひます。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>それでは、佐竹委員、お願いします。</p>
	教育委員・ 佐竹委員	<p>私も学校再編を理解している中で、保護者は色々な不安がありますので、それを解消しながら進めてほしいと思ひます。</p> <p>私は米山に住んでおひまして、再編の話が出た時にはPTAの会長をしておひました。米山には3つの学校があり、その学校の再編ということで3つの学校のPTAの会長さん、学校の先生方、保護者の方々と話</p>

議題・ 発言	教育委員・ 佐竹委員	<p>し合いを進めてきました。その中で出された意見は、市で再編についての細かい情報を出して欲しいということです。情報が無い中でどう思いますかと聞かれても、通学のことやどこに建てるのか、建てた後、先生方はどうなるのかなど具体的に示されないと再編のイメージが分からないと思います。</p> <p>それから、桜岡小と善王寺小が統合してちょうど10年目ですが、統合時の方々に話を聞くと、その時に先を見据えて統合したはずなのに、また統合するのかなという話があり、市でもっと情報を発信してほしいという話でした。</p> <p>また、来年度から全地域でコミュニティスクールが始まりますが、3者が集まる場ですので、これを活用して子ども達の状況ですとか、地域の足りない部分などについてより具体的な話し合いができるのではないかと思います。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>細かいことで、スクールバスはどうなるのか、先生方はどうなるのか、どこに建つのかなど、それが当然、一番気になるころだと思います。</p> <p>地域住民の意見を聞く、保護者の意見を聞いてばかりでは、いつまで経っても話は進まないと思います。</p> <p>早めに再編の骨子案や構想案を皆さんに示さなければ、保護者の方も何を聞けばいいのか、どう判断したらいいのか分からないと思います。</p> <p>このことは事務局でも重々承知している事と思います。</p> <p>また、コミュニティスクールは、いい形で進んできておりますので、そこでの話し合いで、指導をいただきたいと考えております。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>須藤委員、お願いします。</p>
	教育委員・ 須藤委員	<p>登米市全体を見据えた検討委員会があるといいと思うことと、実際、具体的には各地域で動くこととなるので、話し合いに地域のコミュニティスクールの活用ができるのではないかと思います。</p> <p>コミュニティスクールの構成は学校長がトップとなり、PTA会長や区長代表や産業界代表となっており、バランスのいい構成となっております。</p> <p>私も教育委員になる前に登米小学校のコミュニティスクールの評議員をしておりましたが、登米中学校区での交流会議が先にあり、その後に登米小学校と登米中学校に分かれて会議を行ってありました。そうしますと登米町内の情報が全て分かります。</p> <p>このような中学校区のコミュニティスクールの会議で学校再編を議題として話し合いができるのではないのでしょうか。その中で学校長さんや地域の方々に、学校再編は市全体の計画であることが説明できると思います。</p>
	議長・熊谷 市長	<p>大久保委員との提案と同じかと思いますが、検討してまいりたいと思います。</p>

議題・ 発言	議長・熊谷 市長	教育長はどのように考えますか。
	高橋教育長	方向性は一つになっていると思いますが、いろいろな意見が出てまいりましたので、核論について、どういう形、順番で進めていくかが次の課題になってくると思います。 片寄せするにしても、東和の地域性の事情がありますし、進めやすいところもありますし、複式学級になってもそれでいいのかというところもありますので、それらを整理して進めていきたいと思っています。
	議長・熊谷 市長	それでよろしいかと思っています。
	議長・熊谷 市長	それでは、「再編の進め方について」、「学校（地域別）の再編方針について」の2項目についての協議は、これでよろしいですか。 （「はい」の声あり）
	議長・熊谷 市長	最後に小中学校再編構想の骨子（案）について、教育委員さん方との共通認識が図られたと理解しております。 今後も教育委員さん方のご意見を頂戴しながら、児童生徒の教育環境の充実に向けて、地域や保護者の声に耳を傾けながら、教育委員会と一緒に学校再編を進めてまいりたいと考えております。
	議長・熊谷 市長	議題については、これで終了とさせていただきます。 進行を司会に戻します。
	司会	それでは議事が終了しましたので、ここで午後3時25分まで10分間休憩といたします。 （休憩 午後3時15分～午後3時25分）
その 他	司会	再開いたします。 その他といたしまして、「業務改善加速事業の取組について」、菅原活き生き学校支援室長より報告をお願いします。
	菅原活き生 き学校支援 室長	（配付資料に基づき、説明） （報告事項の質疑）
	司会	それでは以上をもちまして、第7回登米市総合教育会議を終了とさせていただきます。 お疲れ様でした。

開会（午後 3時35分）